

和歌山県内経済情勢報告

(令和3年7月判断)

1. 総論「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある」(判断を据え置き)

【総括判断】

| 項目 | 前回(3年4月判断) | 今回(3年7月判断) | 前回比較 |
|------|---|---|------|
| 総括判断 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある | → |

(注) 令和3年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、持ち直しつつあり、生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつあるなど、全体としては新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回(3年4月判断) | 今回(3年7月判断) | 前回比較 |
|------|-----------------------------------|----------------------------|------|
| 個人消費 | 新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある | 持ち直しつつある | → |
| 生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | → |
| 雇用情勢 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある | ↗ |
| 設備投資 | 2年度は前年度を上回る見込み | 3年度は前年度を上回る見込み | → |
| 企業収益 | 2年度は増益見込み | 3年度は減益見込み | ↘ |

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外における今後の感染症の動向、金融資本市場の変動の影響等を注視する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「持ち直しつつある」

百貨店・スーパーは、身の回り品では特選ブランドが好調であり、飲食料品も引き続き堅調となっている。一方、衣料品は引き続き低調となっている。

コンビニエンスストアは、外出自粛の影響により、観光地の店舗で売上の落ち込みが継続しているものの、住宅地の店舗において、中食商品等の売上が増加していることから、全体としては堅調となっている。

ドラッグストアは、衛生製品の需要に落ち着きが見られるものの、飲食料品の売上が堅調に推移していることから、全体としては堅調となっている。

家電大型専門店は、テレビやエアコン等の売上が堅調となっているものの、全体としては感染症の影響による特需に落ち着きが見られている。

乗用車の新車登録届出台数は、普通車、軽自動車ともに前年を上回り、回復しつつある。

観光動向は、県内主要観光地において、感染症の影響により観光客数は低調となっているものの、足下では観光需要喚起策により、一部観光地では回復に向けた動きが見られている。

(主なヒアリング結果)

- 身の回り品は、特選ブランドが好調。衣料品は、紳士服や子供服については改善が見られるものの、主力の婦人服は厳しい状況が継続している。(百貨店・スーパー)
- 引き続き巣ごもり需要が継続し堅調となっている。農産物や畜産物については、前年は感染症による内食需要が増加したことによりこれらの需要も増加したものの、現在は調理疲れにより前年比では減少しており、惣菜が増加している。衣料品については、4月の入学式に備えたスーツ需要や、5月は気温上昇による夏物衣料が売れたが、6月の売上は前年を下回っている。(百貨店・スーパー)
- 観光地の店舗は落ち込んだままとなっているが、住宅地の店舗では、外出自粛の影響から冷凍食品等の中食商品やデザート等の売上が増加しており、堅調に推移している。和歌山は住宅地の店舗の割合が高いこともあり、全体としてみれば堅調。(コンビニエンスストア)
- 前期比では、売上、客数、客単価ともに増加しており、前年同期比でも、買上点数が増加しているため売上は増加している。飲食料品の売上は堅調に推移している。(ドラッグストア)
- 2、3月は新生活需要が多く想定以上の売上だったこともあり、今期は来店客数、売上ともに減少している。6月半ばまでは気温が高い日が続いていたため、エアコンがよく売れた。(家電大型専門店)
- 今期の売上は感染症の影響でかなり落ち込んでいた前年同期と比較すると増加している。半導体不足による生産調整により、納期が通常より1、2か月伸びているものの、売上への影響はさほど大きくはない。(自動車販売店)
- 今期の観光客数は、感染症の影響が甚大であった前年と比べると増加しているものの、今年の4月下旬から6月にかけて大阪府等に緊急事態宣言が発出された影響により、例年と比較すると大幅に減少している。足下では、「わかやまリフレッシュプラン2nd」についての問い合わせも多く、7月の4連休を中心に毎週末予約が入りつつある。(観光関係団体)
- 感染症の影響は未だ大きく観光客数は低調となっている。GWの動向では、今年は昨年よりも上回っているものの、感染症前の水準と比べると約6割程度。「わかやまリフレッシュプラン2nd」についても、足下では問い合わせもなくほとんど動きが見られない。(観光関係団体)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

機械工業は、はん用機械では国内需要が回復しつつあるほか、生産用機械では中国向けを中心に海外で設備投資需要が回復しつつあり、全体としては持ち直している。

化学工業は、半導体関連製品が堅調となっているものの、一部に弱さが見られる。

鉄鋼業は、引き続きエネルギー関連製品の需要が低調となっているものの、自動車関連製品は好調となっており、全体としては持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 生産量は、国内需要の増加から、感染症の影響により落ち込んでいた前年同期比では増加しているが、前々年同期比では減少しており感染症の影響から回復はしきっていない。ただし、現在、工場はフル稼働させており、残業が必要な状況になっている。(機械工業)
- 感染症の影響により航空産業が大きなダメージを受けたものの、5G基板向けの需要が増加したため航空機向けの生産量を5G向けに振り替えている。(化学工業)
- エネルギー需要が回復せず需要は底這いとなっている一方で、自動車向け製品は引き続き好調となっている。(鉄鋼業)

■ 雇用情勢 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は、今年2月以降3か月連続で上昇している。また、足下では製造業を中心に新規求人数が増加しているなど、雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 5月の有効求人倍率は、1.13倍となっており2月から3か月連続で上昇している。新規求人数について、足下では増加しているものの、数か月間でみれば毎月増減を繰り返していることから先行きの不透明感は強い。また、新規求職申込件数については、3月以降横ばいで推移している。(公的機関)
- 昨年、感染症拡大による需要の減少から、人員が過剰気味になったことを受け、従業員を減らしたものの、足下では需要が回復してきており今では人手が足りていない。(その他製造業)
- 通常時であれば不足しているところ、現在は客数の減少に伴い業務量が減少していることから、適正人数となっている。(飲食店)
- 通常であれば仲居の人員が不足する時期であるが、緊急事態宣言により大阪府等からの観光客が減少したため、過剰気味となっている。(宿泊業)

■ 設備投資 「3年度は前年度を上回る見込み」

法人企業景気予測調査(令和3年4～6月期調査)でみると、3年度の設備投資は、全産業で前年度を上回る見込みとなっている。産業別では、製造業、非製造業ともに前年度を上回る見込みとなっている。

■ 企業収益 「3年度は減益見込み」

法人企業景気予測調査(令和3年4～6月期調査)でみると、3年度の経常利益は、全産業で減益見込みとなっている。産業別では、製造業で増益見込みとなっているものの、非製造業で減益見込みとなっている。

【その他の項目】

■ 住宅建設 「前年を下回る」

新設住宅着工戸数(3ヶ月後方移動平均値)でみると、前年を下回っている。内訳でみると、持家、分譲で前年を上回っているものの、貸家で前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回る」

前払金保証請負金額(年度累計額)でみると、前年を下回っている。内訳でみると、国、県、市町村で前年を上回っているものの、独立行政法人等で前年を下回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数、負債総額ともに前年を下回る」

倒産件数、負債総額ともに前年を下回っている。

■ 景況判断 「「下降」超となっている」

法人企業景気予測調査(令和3年4～6月期調査)の景況判断BSIでみると、全産業で「下降」超となっている。

産業別は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。

規模別は、大企業では「上昇」と「下降」が均衡しているものの、中堅企業、中小企業では「下降」超となっている。

連絡・問合せ先 和歌山財務事務所 財務課 TEL: 073-422-6142